

事業活動実績報告書

施 設 名	幼保連携型認定こども園青戸福祉
教 育 理 念	・自分でできることを喜びとして、新しいことに挑戦する子ども ・よく見てよく聞き自分の考えで行動する力 ・友だちと心を通わせ合い、のびのびと遊ぶ子ども

1 事業名	のびのび身体を動かそう
2 実施期間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 3月 31日

3 取組概要	（取組日） 令和 7年 8月 22日 ～ 令和 年 月 日 （実施内容）当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・講師に来てもらいリズムジャンプを保育教諭も一緒に楽しみました。 
	（取組日） 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （実施内容）当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・室内用屋外用遊具があることで、どんな気候でも身体機能を促す遊びが行えるようになりました。 
	（取組日） 令和 7年 8月 22日 ～ 令和 年 月 日 （実施内容）当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・日常的に遊びながら身体機能を促す遊びを行えるようになりました。 
	（取組日） 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （実施内容）当該期間における取組内容を詳細に記載すること 

3	取組概要	(取組日) 令和 7年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
		(取組日) 令和 7年 10月 1 日 ~ 令和 7年 10 月 31日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 5歳児伝統の『荒馬踊り』のツーステップも、日常のリズムジャンプの活動のおかげで、かっこよく飛ぶことが出来ました。	
		(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 『荒馬踊り』のなかで、ハードルに向かってかけていき大きくジャンプする姿にあこがれて3歳児と4歳児も跳び方を教えてもらいながらやらせてもらいました。	
		(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・本物ではないけれど憧れの荒馬の衣装を身につけて、3・4歳児も真剣な表情で、太鼓に合わせて荒馬踊りを踊ります。	
		(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・大縄の飛び方のコツを2歳児に教えてあげている5歳児	
		(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・体操教室で指導している職員がどのように子どもたちへ安全でわかりやすい指導の仕方をしているのか保育教諭が学び、教育に活かしています。	

効果検証報告書（継続事業用）

施 設 名	幼保連携型認定こども園青戸福祉				
教 育 理 念	・自分でできることを喜びとして、新しいことに挑戦する子ども ・よく見てよく聞き自分の考えで行動する力 ・友だちと心を通わせ合い、のびのびと遊ぶ子ども				

事業の区分(5領域)	幼稚園教育要領に示された5領域に該当するもの(複数可。最も当てはまるものには◎を選択してください)				
	健康 ◎	人間関係 ○	環境	言葉	表現
1 事業名	のびのび身体を動かそう				
2 事業概要	楽しんで身体を使って遊んでいる5歳児が見本となり、3・4歳児を巻き込んでいく。				
3 対象学級(クラス名) 対象人数	3～5歳児 (クラス名: うめ・さくら・ひまわり)			53 名	
計画時	4 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 体操教室の先生の実績がある職員を中心に取り組んでいく。また、指導方法を学び実践していく。			
	事業後 4についての 効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 様々な教具の組み合わせ方や子どもへの伝え方、指導方法などを職員が身につけたことで、子どもたちの運動機能の上達にも反映された。			
計画時	5 事業のねらい	よく転ぶ子ども、姿勢保持が出来ない子どもが増えてきているため、身体機能を使った遊びを積極的に取り組んできた結果、転ぶ子どもが減ってきた。転んでも手が出るようになり、大きなけがに繋がらなくなった。引き続き行うことでより一層体力づくりに取り組む。			
	事業後 5についての 効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ・転びやすく体幹の弱い子どもたちが、自分の体のバランスを取れるようになり、体使いもしなやかになったことで、自ら遊具や活動に主体的に参加する姿が見られるようになった。 ・不器用な子どもたちも、音楽に合わせて楽しみながらリズム活動を行ったことで、リズムに合わせて体を動かす心地よさを実感する。			
計画時	6 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等			
		リズムジャンプラインを用いて全身運動を行う。 築山を滑り降りる、飛び跳ねる、よじ登る、平均台の上を歩く、マットで前転をする、乗用玩具をこぐ、スケーターをこぐ、投げる、渡る、くぐる			
		上記のうち、幼稚園教育要領に示された「内容」について、各園で積み重ねてきた取組を発展させた点			
		健康の領域の『自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする』という「ねらい」に即し、『いろいろな遊びの中で十分に体を動かす』という内容について、本園ではリズムジャンプラインを取り入れ楽しく体を動かしていた。引き続き取り入れ、日常的な遊びにしていきたい。			
		(継続事業のみ記入) 前年度の取組から発展させた点			
		・前年度は保育者が見本となり遊んでいたが、今年度は5歳児がモデルになり、3・4歳児を巻き込んでいく。5歳児がモデルになることで初めてのことに躊躇する園児でもチャレンジしてみようとする。また、3・4歳児に憧れられることによって、5歳児は自信を持つことができる。			

計画時	事業後	6)についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ・保育教諭が指導方法や経験したことを年長児とも共有し教育していき、一緒に楽しみながら取り組んだり、年下の子どもたちも真似したり教えてもらったりしたことで、5歳児に対する憧れや自分もあんな風になりたいと一緒に活動する姿に繋がった。
	7 環境構成例		実施する場所：室内・園庭・公園の集会所 使用する器具や道具：リズムジャンプライン・マット・巧技台・乗用玩具・はしご・斜面板 環境づくり：園庭に巧技台を設定して、やりたいときに遊べる環境を作る。 外に出られない時は、室内に巧技台を設定し身体を使って遊べる環境を作る。
計画時	事業後	7)についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ・苦手意識があるため、なかなか運動活動に参加しながらない子どもたちも、継続的にサーキット活動を行ったことで身体機能が発達し、主体的に活動に参加する姿に繋がった。
	8 期待される効果児童の姿		取組を通じて期待される児童の姿や効果等 ・身体を使って遊ぶ楽しさがわかってきている。楽しみながら体力がついてくる。
	事業後	8)についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ・転びやすく体幹の弱い子どもたちが、自分の体のバランスを取れるようになり、体使いもしなやかになったことで、自ら遊具や活動に主体的に参加する姿が見られるようになった。 ・不器用な子どもたちも、音楽に合わせて楽しみながらリズム活動を行ったことで、リズムに合わせて体を動かす心地よさを実感していた。
	9 効果検証総括		事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて ・上記にも記載したが、保育教諭が指導方法や経験したことを年長児とも共有し教育していき、一緒に楽しみながら取り組んだり、年下の子どもたちも真似したり教えてもらったりしたことで、5歳児に対する憧れや自分もあんな風になりたいと一緒に活動する姿に繋がった。 ・教具があることで、年間通して身体機能を促す活動を安全に行うことができ、教具の種類が増えたため、色々な体の動きを経験することができた。 ・リズムジャンプを保育教諭も経験したことで、日常生活の中で子どもたちと一緒に楽しみながら実践していくことができ、5歳児の表現活動にもつながった。

※必要に応じて、別紙の添付やイラストの活用などにより事業説明を補足しても構いません(別紙は任意様式)。

※幼保連携型認定こども園教育・保育要領における教育のねらいや内容等については、幼稚園教育要領の5領域から構成されていることを踏まえ、本事業では「幼稚園教育要領」とのみ記載しています。